

## 令和3年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	83	学校名(課程)	豊科高等学校(全日制)
------	----	---------	-------------

## 1 全体目標

○ 自己を理解し、主体的な生き方を選択できる能力・態度を育てる

## 2 現状・課題

- ① 自己の適性、長所、短所などに関する認識を深め、自分の将来の進路を自分で見つけさせる。
- ② 自分の周囲にいる家族や友人以外の他者との交流の機会を設定し、他者とのコミュニケーションをとる力を身につけさせる。
- ③ 具体的な職業や目標となる大学・短大・専門学校・学部・学科についての研究を進め、早期に目標設定、実現計画を立てさせる。

## 3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を含める。学校で言い換えた力でもよい。

- a 人間尊重の基盤に立って、学習を深め、心身ともに健全で、情操豊かな人間形成を目指す。
- b 他者の個性を尊重し、自己の個性を発揮しながら、様々な人々とコミュニケーションを図り、協力・共同してものごとに取り組む。
- c 自らの意志と責任でよりよい選択・決定を行うとともに、その過程での課題や葛藤に積極的に取り組み克服する。
- d 希望する進路の実現に向け、自ら課題を設定してその解決に取り組む。

## 4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
①自己の在り方、生き方を考え、将来設計と社会参画の意識を醸成する	ア 将来の職業選択を視野に入れ、自己の将来の生き方・働き方や進路についての自覚を深めさせる。：①
②仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	イ 生徒の個性を生かした主体的な学習から、学ぶことの楽しさを体験させる。：③ ウ 職業や社会との関わりの中での自己の生き方・在り方や社会における自己の役割を意識させるようなキャリア教育を推進する。②③④
③様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促し、将来の職業を考える	
④卒業後の進路を選択し、実現をめざす	

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・基礎学力の伸長を図る。〈1年〉・授業において、発問の機会を増やし、生徒が意見・見解を自らの言葉で表現することによって、問題解決の能力を高める。〈2年〉 ・生徒同士で教え合う機会を設けることによって、相互扶助の精神を培うとともに、自らの学習内容の理解度を深める。〈3年〉 ・「進路学習資料」冊子の活用。〈LHR時 1～3年〉
総合的な探究の時間	・生徒個々の学習課題と発達段階に応じたプログラムを用意し、進路意識の高揚を図る。〈2年〉 ・自己の在り方・生き方や進路についての学習を体験的な活動を通して行い、更に各自の体験の共有化を通して、主体的な進路選択(進路決定)のできる生徒を育成する。〈3年〉
特別活動	・集団生活や社会生活に必要な基本的なマナーを身につけ、学校への帰属意識を高める。〈1年〉 ・行事を成功させることによる達成感を体験し、それに連動した学習意欲の向上を図る。〈2年〉 ・社会への帰属意識を通して、職業観の育成を図り、自身の在り方・生き方を追究する。〈3年〉
校外の体験活動(就業体験活動等)	・職業適性検査〈1年〉 事業所見学・キャリア・チャレンジ・プログラム〈1年〉 ・企業訪問・大学訪問 ・キャリア・チャレンジ・プログラム〈2年または3年〉 ・オープンキャンパス参加(進学希望者)〈1～3年〉
地域や産業界等との連携	・地域行事への積極的な参加〈1～3年〉
評価	・生徒、PTAアンケート ・教職員アンケート ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用
中学校との連携(指導の継続性)	・中学校との連携を模索する。
校内の推進体制	・担当者を中心に、全職員で推進していく。

## 5 学年別指導計画

	1 年	2 年	3 年
目 標	○ 高校生活への適応を促し、自己の興味・関心に対する自己理解を図らせ、それを学問の興味へと深めさせる。	○ 勤労観、職業観を育成し、進路意識の進化、自己の進路への目的意識の明確化を図らせる。	○ 課題研究の活動を教職員の支援のもとに行わせ、自己の進路志望理由を明確にさせ、希望進路を実現させる。
主 な 取 組	○ 自己理解 ○ キャリア・チャレンジ・プログラム ○ 職業適性検査 ○ 2年次科目選択	○ キャリア・チャレンジ・プログラム ○ 研修旅行 ○ 3年次科目選択	○ 進路選択・将来設計 ○ キャリア・チャレンジ・プログラム
評 価	・ 生徒意識調査(県教委) ・ 生徒、保護者アンケート ・ 教職員アンケート	・ 生徒意識調査(県教委) ・ 生徒、保護者アンケート ・ 教職員アンケート	・ 生徒意識調査(県教委) ・ 生徒、保護者アンケート ・ 教職員アンケート

年間指導計画と各取組の関連

\*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教 科	総合的な探究の時間	特別活動等	その他(面接・評価等)
1 年	4 各教科シラバス説明 基礎学力の伸長を図る。 コミュニケーション能力の育成	中学校からの移行について検討 キャリアガイダンスⅠ 職業適性検査	高校生活のガイダンス 生活学習目標設定 進路希望調査 自己を知ることへの取り組み	個別面接
	7 社会のルールを理解			個人面談・三者懇談
	夏 基礎学力の伸長を図る。 コミュニケーション能力の育成 休 社会のルールを理解		□キャリア・チャレンジ・プログラム	
	9 基礎学力の伸長を図る。 コミュニケーション能力の育成 自己表現能力の育成 社会のルールを理解	10 事業所見学準備  12 事業所見学およびまとめ	進路適性検査の実施 進路希望調査 2年次科目選択を考える □事業所見学	三者懇談
	1 生徒の関心や意欲を高める課題を設け主体的な学習を促す。	職業研究 ①働くことの意義、 ②職業分類の理解	9 小論文指導	生徒意識調査(県教委) 生徒・保護者アンケート 教職員アンケート
	春 社会生活における健康・安全に 休 ついて理解を深めさせる		□ボランティア体験	
2 年	4 授業において、発問の機会を増やし、意見・見解を自らの言葉で表現することで問題解決の能力を高める。 7 職業観・勤労観の育成	整理・反省・課題の提示、今後への抱負 キャリアガイダンスⅡ 「キャリア」の理解・設計	進路適性検査の実施 夢・将来像を描く 進路希望調査	個別面接  個人面談・三者懇談
	夏 生活と環境の関わりについて 理解させる。 休		□キャリア・チャレンジ・プログラム	
	9 社会に生きる人間の役割について 生徒が主体的に考え、討議し、発表し合うなどの活動を行う。 12	進路経済講座 ①費用の種類 ②学費比較 ③自宅と自宅外 ④奨学金	9 小論文指導 10 研修旅行準備・計画立案 研修旅行事前指導 12 □研修旅行 上級学校・企業見学	三者面談
	1 情報を収集し、それを処理し、発信(表現)するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を養う。	生徒個々の学習課題と発達段階に応じたプログラムを用意し、進路意識の高揚を図る。	小論文指導	生徒意識調査(県教委) 生徒・保護者アンケート 教職員アンケート
	春 自己の体力や生活に応じた運動 休 計画を立て実生活に役立てる。		□ボランティア体験	
	4 生徒同士で教え合う機会を設けることによって、相互扶助の精神を養うとともに、自らの学習内容の理解度を深める。 7 コミュニケーション能力の育成	キャリアガイダンスⅢ 進路プランニング ①大学卒業後の自分の姿 ②学部選択 ③大学選択 志望理由書作成・面接指導	進路適性検査の実施 夢・将来像を描く 進路希望調査 企業訪問・インターンシップ準備	個別面接  個人面談・三者懇談
3 年	夏 進路設計 将来設計 休 コミュニケーション能力の育成		□キャリア・チャレンジ・プログラム	
	9 進路設計 将来設計 12 効果的なコミュニケーションの方法を習得させる。	志望理由書作成 面接指導	□キャリア・チャレンジ・プログラム	生徒意識調査(県教委) 生徒・保護者アンケート 教職員アンケート
	1 進路選択		労働講座(行政機関・民間企業)	進路状況まとめ